

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主 確定日	3月31日、9月30日 その他必要あるときは あらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel. 0120-232-711(フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所 札幌証券取引所
公告方法	電子公告により行う (http://www.hokkanholdings.co.jp/)に 掲載いたします。ただし、事故その他やむを得 ない事由により電子公告をすることができな いときは、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続き
につきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会
社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証
券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託
銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては
は、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記
特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせくだ
さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたしま
す。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支
払いいたします。



ホッカホールディングス株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目2番2号
TEL03-3213-5111 (代表)

URL: <http://www.hokkanholdings.co.jp/>

株主優待のお知らせ

毎年3月31日(基準日)現在の株主名簿に記載された株主様
に対し、当社グループの容器に入った缶詰を年1回、以下のとおり
贈呈いたします。

贈呈基準

- 1,000株以上 5,000株未満
—— 2,000円相当の缶詰詰合せ
- 5,000株以上 10,000株未満
—— 3,000円相当の缶詰詰合せ
- 10,000株以上
—— 5,000円相当の缶詰詰合せ



この冊子は環境への配慮のため、FSC森林認証紙と
ベジタブルオイルインキを使用しています。



株主の皆様へ

HOKKAN REPORT Vol.18

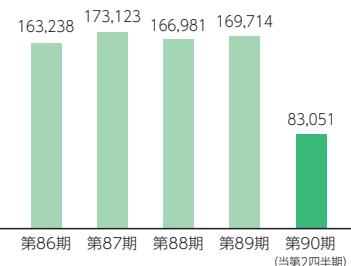
第90期上半期 株主通信

2014年4月1日～2014年9月30日

ホッカホールディングス株式会社
(証券コード:5902)

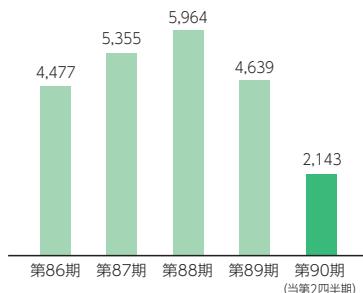
売上高

単位：百万円



経常利益

単位：百万円



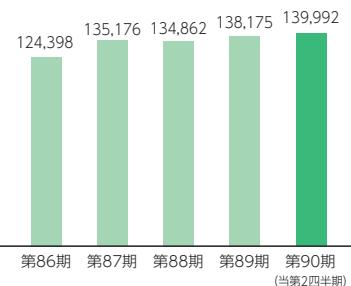
四半期(当期)純利益

単位：百万円



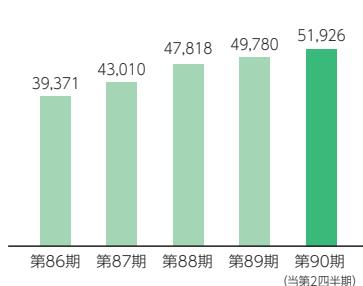
総資産

単位：百万円



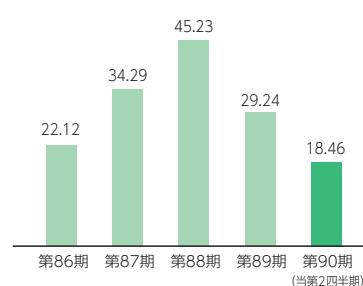
純資産

単位：百万円



1株当たり四半期(当期)純利益

単位：円



項目	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期(当第2四半期)
売上高 (単位:百万円)	163,238	173,123	166,981	169,714	83,051
経常利益 (単位:百万円)	4,477	5,355	5,964	4,639	2,143
四半期(当期)純利益 (単位:百万円)	1,488	2,306	3,042	1,966	1,241
総資産 (単位:百万円)	124,398	135,176	134,862	138,175	139,992
純資産 (単位:百万円)	39,371	43,010	47,818	49,780	51,926
1株当たり四半期(当期)純利益 (単位:円)	22.12	34.29	45.23	29.24	18.46

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、第90期上半期(2014年4月1日から2014年9月30日まで)の営業の概況ならびに計算書類について、ご報告申し上げます。

当上半期の業績および営業概況

当上半期におけるわが国経済は、期初は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響から生産面を中心に弱めの動きが見られたものの、雇用や所得環境が改善するもとで、景気は緩やかに回復する状況で推移いたしました。

このような情勢のなかで、当社グループは業績の向上を目指し、各分野で努力してまいりましたが、清涼飲料業界の不振の影響等を受けました結果、当上半期の連結総売上高は830億51百万円(前年同期比7.5%減)となり、営業利益は15億25百万円(前年同期比53.7%減)、経常利益は21億43百万円(前年同期比45.4%減)、中間純利益は12億41百万円(前年同期比44.7%減)を計上するにとどまりました。

当上半期の清涼飲料業界における状況につきましては、4月からの消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動と、8月半ば以降、天候不順により低温が続いたこと、さらには西日本を中心とした台風や豪雨の影響等が重なり、急激に市場が冷え込む結果となりました。そのため、清涼飲料業界全体では前年を下回る結果となりました。

カテゴリ別で見ますと、ミネラルウォーターにつきましては堅調に推移いたしましたものの、その他の清涼



代表取締役社長

工藤 常史

飲料(炭酸飲料・スポーツドリンク・茶系飲料等)は前年を下回る結果となりました。

また、缶コーヒーにつきましても、コンビニエンスストアで展開されているカウンターコーヒーが広く普及した影響や自動販売機による販売が低迷したこと等により前年を下回る結果となりました。

食品缶詰業界につきましては、農産缶詰では原料等が比較的安定して確保されたことにより前年を上回りました。しかしながら、水産缶詰では円安による輸入原料の高騰に伴う製品価格の値上げと、夏場の海水温の影響により水産原料の水揚げが大幅に遅れたことなどが影響し前年を下回りましたため、食品缶詰全体では前年を下回る結果となりました。

事業別の概況

容器事業

(メタル缶)

①飲料缶・食品缶

飲料用スチール空缶につきましては、主力の缶コーヒーの市場が低調に推移したため、飲料用スチール空缶全体では前年を下回る販売となりました。

食品缶詰用空缶につきましては、主力のスイートコーン缶が前年を上回る販売となりましたものの、水産缶詰が減少となりました結果、食品缶詰用空缶全体では前年を下回る結果となりました。

②その他

エアゾール用空缶につきましては、当社独自の開発容器の販売が順調に推移し、また、自動車関連用品を新たに受注するなど前年を上回る販売となりました。

美術缶につきましては、ギフト商品が減少したものの、洋菓子関連の新規受注等により前年を上回る販売となりました。

(プラスチック容器)

①飲料用ペットボトル

飲料用ペットボトルにつきましては、8月半ばからの天候不順の影響を受けたため、前年を下回る結果となりましたものの、プリフォーム(ボトル成形前の中間製品)につきましては積極的な営業活動を展開したことにより、前年を上回る結果となりました。

②食品用ペットボトル

食品用ペットボトルにつきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響などにより醤油用ボトル、食品油用ボトルの販売が減少したため、食品用ペットボトル全体では前年を下回る結果となりました。

③その他

一般成形品につきましては、化粧品用や住宅用洗剤の新製品を受注するなど前年を上回る結果となりました。また、バッグインボックスも順調に推移したことから一般成形品全体では前年を上回る販売となりました。

以上の結果、容器事業全体の売上高は221億66百万円(前年同期比9.0%減)となり、営業利益は80百万円(前年同期は営業損失276百万円)となりました。



充填事業

(缶製品)

缶製品につきましては、リシール缶(ボトル缶)および炭酸製品は天候不順の影響等により減少となりましたが、通常缶によるコーヒー製品は缶ライン増強の効果もあり、前年を上回る結果となりました。

(ペットボトル製品)

ペットボトル製品につきましては、アセプティック(無菌充填)を含む大型ペットボトル製品は、ミネラルウォーター用の新ラインが5月から稼働したものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響等により前年を下回る結果となりました。また、アセプティック(無菌充填)を含む小型ペットボトル製品につきましても、夏場の天候不順やお客様によるボトル成形から充填までの一貫



生産の拡大の影響により前年を下回る結果となりましたため、ペットボトル製品全体では前年を下回る販売となりました。

以上の結果、充填事業全体の売上高は583億61百万円(前年同期比7.0%減)となり、営業利益は18億36百万円(前年同期比52.2%減)の結果となりました。

機械製作事業

機械製作部門につきましては、グループ内において飲料充填ライン等を受注しましたが、グループ外については、自動車部品生産機械の販売が順調でありましたものの、その他規格製品である小袋充填機が減少する等、前年を下回る販売となりました。以上の結果、機械製作事業全体の売上高は5億6百万円(前年同期比23.9%減)となり、営業利益は43百万円(前年同期比48.1%減)となりました。

その他

インドネシアにおいて、容器(ペットボトル)製造から内容物の充填までを一貫しておこなうPT.HOKKAN INDONESIA(ホッカシ・インドネシア社)では、同国の経済成長率が今後も高く続くものと予想されるなか、都市部を中心に飲料製品の需要は確実に増加しており、同社においてもコーヒー飲料を中心に順調に販売いたしました。また、今期中に予定されている第2ラインの稼働に伴い、新規顧客を獲得していくことで拡大期にある同国の飲料市場で安定した基盤を確立してまいります。

なお、第1四半期連結会計期間より、ベトナムにおいて清涼飲料の受託充填事業を営んでおりますNIHON

CANPACK(VIETNAM)CO.,LTD.(日本キャンパック・ベトナム社)を連結の範囲に含めております。

以上の結果、工場内の運搬作業等を行っております株式会社ワーク・サービスを加えたその他全体の売上高は20億17百万円(前年同期比0.5%増)となり、営業利益は1億2百万円(前年同期比44.9%減)の結果となりました。

下期へ向けて

下期のわが国経済の見通しにつきましては、景気は依然緩やかに回復を続けると予想されるものの、更なる円安による原材料価格やエネルギーコストの上昇など、依然不透明な状況が続くものと思われまます。

このような状況のなかで、当社グループは中期5カ年経営計画「ACTIVE-5」の4年目を迎えております。今年度につきましては国内経済の見通しと同様に、当社グループを取り巻く環境は極めて厳しい状況が続いておりますが、中期5カ年経営計画で掲げました「既存事業の持続的成長と新たな事業展開への挑戦」を実現するため、国内事業においては、容器事業は事業構造改革の更なる推進、充填事業では収益基盤の維持拡大を進めてまいります。また、海外事業につきましても、4事業会社(ホッカシ・インドネシア社、日本キャンパック・ベトナム社、日本キャンパック・マレーシア社、ホッカシ・タイ社)における収益の拡大と更なる成長に向けて取り組んでまいります。なお、昨年度および本年度にかけて新たに当社グループ入りしました株式会社コスメサイエンス、くじらい乳業株式会社におきましても、今後、それぞれの事業において安定的成長を目指すとともに、グループ間における各種連携を強化し、グループの総合力向上に向け取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

なお、通期の連結業績は売上高1,640億円、経常利益37億円、当期純利益21億円を見込んでおります。

以上ご報告のとおりでございますので、中間配当金につきましては、1株につき3円75銭とし、2014年12月8日にお支払いすることといたしました。

ホッカンホールディングスは グループ事業会社全体の力を統合し、 さらに高いレベルの「ものづくり力」を追求します。

当社は持株会社として、各事業を強化するとともに、グループ企業とのアライアンスの発展を図ってまいります。そして、“最大より最高”をモットーに、品質と価格の両面を併せ持つ「ものづくり力」を高めてまいります。



容器製造／販売

食品用、飲料用などの空缶、ペットボトルなどのプラスチック容器の開発、生産、販売など幅広くおこなっています。

「ホッカンエバーグリーン」は、同社のルーツである北海道の大地を象徴する緑、永遠の若さ、生命力を表しています。

北海製罐株式会社

昭和製器株式会社 株式会社ワーク・サービス
日東製器株式会社 PT.ホッカン・インドネシア
東都成型株式会社 ホッカン・タイ
株式会社コスメサイエンス

充填

大手ブランドの飲料を空缶やペットボトルに充填する受託充填企業です。調合から物流までを請け負う総合力を持っています。

「キャンパックアクアブルー」は、良質の水に恵まれた工場を持つ同社のメリットから、品質と潤いを表しています。



株式会社日本キャンパック

株式会社西日本キャンパック
日本キャンパック・マレーシア
日本キャンパック・ベトナム
くじらい乳業株式会社

機械製作

北海製罐株式会社や株式会社日本キャンパックで使用する超精密密度の金型から製造機械、総合一般の製造ラインまで提供する機械メーカーです。

「オーエスプレジションオレンジ」は、超精密密度を追求する同社の各種金型と各種製造機械の安全性を表しています。

オーエスマシナリー株式会社

KE・OSマシナリー株式会社



くじらい乳業株式会社を 株式会社日本キャンパックの子会社に

当社グループでは2014年6月6日にくじらい乳業株式会社の株式を66.7%取得し、子会社化するとともに、同社において、新たに工場を2015年6月完成を目指し、建設することといたしました。これにより当社グループは乳製品分野へ事業領域を拡大してまいります。



くじらい乳業株式会社の概要

所在地	埼玉県熊谷市
資本金	30百万円
事業内容	乳製品製造・乳酸菌飲料製造等

新工場の概要

事業内容	乳製品製造設備
投資総額	約39億円
設置場所	埼玉県行田市
完成予定	2015年6月



工場完成予想図

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2014年9月30日現在	前期 2014年3月31日現在
資産の部		
流動資産	49,116	51,171
現金及び預金	1,775	2,459
受取手形及び売掛金	28,207	29,664
電子記録債権	4,301	4,569
たな卸資産	10,603	10,097
繰延税金資産	742	712
その他	3,506	3,689
貸倒引当金	△19	△21
固定資産	90,876	87,003
有形固定資産	65,339	61,748
建物及び構築物	22,101	20,784
機械装置及び運搬具	20,932	18,352
土地	15,791	15,791
リース資産	1,185	1,094
建設仮勘定	4,963	5,432
その他	364	292
無形固定資産	1,652	1,254
投資その他の資産	23,883	24,001
投資有価証券	20,413	19,777
繰延税金資産	34	231
その他	3,588	4,144
貸倒引当金	△152	△151
資産合計	139,992	138,175

科目	当第2四半期 2014年9月30日現在	前期 2014年3月31日現在
負債の部		
流動負債	48,024	50,242
買掛金	25,298	27,300
短期借入金	13,227	11,422
リース債務	448	390
賞与引当金	812	846
その他	8,236	10,282
固定負債	40,041	38,152
長期借入金	34,657	33,011
リース債務	906	908
繰延税金負債	734	151
退職給付に係る負債	2,852	3,266
その他	890	814
負債合計	88,065	88,395
純資産の部		
株主資本	44,997	43,978
資本金	11,086	11,086
資本剰余金	10,750	10,750
利益剰余金	23,187	22,167
自己株式	△26	△26
その他の包括利益累計額	2,955	2,178
その他有価証券評価差額金	3,478	3,142
繰延ヘッジ損益	4	△10
為替換算調整勘定	299	△94
退職給付に係る調整累計額	△825	△859
少数株主持分	3,973	3,623
純資産合計	51,926	49,780
負債純資産合計	139,992	138,175

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	前第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで
売上高	83,051	89,768
売上原価	74,639	79,333
売上総利益	8,412	10,435
販売費及び一般管理費	6,886	7,143
営業利益	1,525	3,291
営業外収益	914	925
営業外費用	295	287
経常利益	2,143	3,929
特別利益	—	30
特別損失	74	100
税金等調整前四半期純利益	2,069	3,858
法人税・住民税及び事業税	564	1,369
法人税等調整額	91	△166
少数株主損益調整前四半期純利益	1,413	2,655
少数株主利益	172	411
四半期純利益	1,241	2,243

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

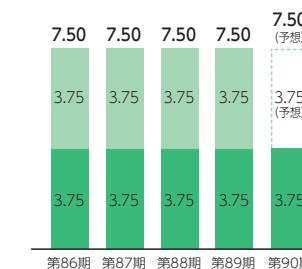
科目	当第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	前第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,603	5,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,324	△5,315
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,958	△86
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△1
現金及び現金同等物の増減額	△766	△3
現金及び現金同等物の期首残高	2,459	1,470
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	82	248
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,775	1,715

利益分配に関する
基本方針

当社は、剰余金の配当等会社法第459条第1項各号に定める事項について、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役会の決議により定めることができる旨を定款に定めております。剰余金の配当につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への安定した配当をおこなうことを基本方針としております。

1株当たり配当金

単位:円 ■中間期 ■期末



会社概要

商号 ホッカンホールディングス株式会社
HOKKAN HOLDINGS LIMITED

本社 東京都千代田区丸の内二丁目2番2号
丸の内三井ビル TEL03-3213-5111

設立 1950(昭和25)年2月1日
(創立 1921(大正10)年10月23日)

資本金 110億8,652万4,995円

従業員数 26名

主要な事業内容 (1)各種空罐、容器の製造販売
(2)清涼飲料水・酒類その他各種飲料の受託充填及び販売
(3)各種機械の製造販売
(4)機械器具設置工事業
(5)倉庫業
(6)土木・建築工事の設計、施工請負



株式の状況

発行可能株式総数 240,000,000株

発行済株式の総数 67,346,935株

株主数 5,560名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社トーモク	5,926	8.81
日本生命保険相互会社	3,274	4.87
株式会社みずほ銀行	3,273	4.87
ホッカンホールディングスグループ取引先持株会	2,953	4.39
農林中央金庫	2,000	2.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,000	2.97
東京海上日動火災保険株式会社	1,805	2.68
株式会社北海道銀行	1,765	2.63
株式会社メタルワン	1,700	2.53
JFEスチール株式会社	1,565	2.33

(注)持株比率は自己株式(80,592株)を控除して計算しております。

役員

取締役社長(代表取締役) 工藤 常史

常務取締役 山崎 節昌

常務取締役 池田 孝資

取締役 久保田 裕一

取締役 藤本 良一

取締役 小池 明夫

取締役 武田 卓也

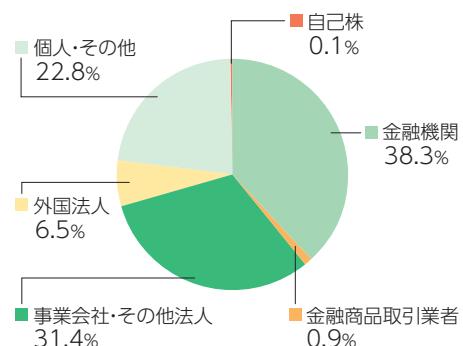
常勤監査役 大塩 恭介

監査役 寺嶋 勉

監査役 新名 孝信

監査役 安藤 信彦

所有者別分布状況



当社のホームページでは株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、当社の事業活動や動向を紹介しております。また、この度、**英文サイト**と**個人投資家向けサイト**を開設し、**IR情報メールの配信サービス**をスタートいたしました。当社をよりご理解いただくためにも、是非アクセスしてください。

<http://www.hokkanholdings.co.jp/>

IR情報 / 電子公告



トップページ



英文サイト



IR情報メールの配信サービスにご登録ください!

最新のニュースリリースやホームページの更新情報などを、ご登録の皆様に電子メールにてお知らせいたします。



個人投資家向けサイト